

第3章

印西市の環境目標

第3章 印西市の環境目標

3-1 印西市が目指す将来環境像

本計画における将来環境像については、第2次計画を踏まえつつ、次のように定めます。

【印西市が目指す将来環境像】
みんなでつくる 自然と人々の暮らしが調和した
快適でやさしいまち いんざい

私たちのまち印西市は、千葉ニュータウンに代表される機能的・先進的な地域を持つまちでありながら、里地里山や水辺などの豊かな自然環境に恵まれ、都市と自然が共存する田園都市として発展してきました。

令和3（2021）年3月に策定された印西市総合計画では、本市の将来都市像として「住みよさ実感都市 ずっと このまち いんざいで」を掲げており、受け継がれてきた良好な自然環境と質の高い都市基盤の中で、すべての市民が安心していきいきと活動し、生活の様々な場面で住みよさを実感できるまち、そして、将来も住み続けたいと思うまちとすることを目標としています。

しかしながら、本市の魅力である自然環境は、農林業の衰退や離農者の増加などによる谷津の荒廃、外来生物の侵入・定着、地球温暖化やそれに伴う気候変動など、様々な問題により窮地に立たされています。

私たちは、本市の里地里山や水辺の維持・保全を通じて、人々の日常生活や事業活動のひとつひとつが自然環境や地球環境、水や資源の循環と密接につながっていることを実感し、自然との共存を意識した行動を心がけることが重要です。

これらのことから、本計画においては「みんなでつくる 自然と人々の暮らしが調和した快適でやさしいまち いんざい」を本市の将来環境像として、市民・事業者・行政の三者協働により、将来環境像の実現に向けた取組を行っていきます。

3-2 計画とSDGsの関連

(1) SDGsの概要

SDGsとは「^{サステイナブル ディベロップメント} Sustainable Development Goals」の略で、日本語では「持続可能な開発目標」といいます。SDGsは「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指すものであり、先進国、開発途上国すべての国々を含めた全世界共通の目標です。

SDGsは17のゴールと169のターゲットで構成されていますが、そのうち主に13のゴールが環境へ直接的に関連しています。

また、各ゴールは相互に関連しているため、1つの取組が複数の目標の達成に貢献することになり、その達成には国際機関、国、産業界、自治体と一般市民が一丸となって取り組むことが求められています。

 2 飢餓をゼロに	ゴール2： 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	 3 すべての人に健康と福祉を	ゴール3： あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
 4 質の高い教育をみんなに	ゴール4： すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	 6 安全な水とトイレを世界中に	ゴール6： すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	ゴール7： すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	 8 働きがいも経済成長も	ゴール8： 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	ゴール9： 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	 11 住み続けられるまちづくりを	ゴール11： 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
 12 つくる責任 つかう責任	ゴール12： 持続可能な生産消費形態を確保する	 13 気候変動に具体的な対策を	ゴール13： 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
 14 海の豊かさを守ろう	ゴール14： 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	 15 陸の豊かさも守ろう	ゴール15： 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
 17 パートナリシップで目標を達成しよう	ゴール17： 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化		

環境へ直接的に関連している SDGs のゴール

（２）環境基本計画におけるＳＤＧｓの位置づけ

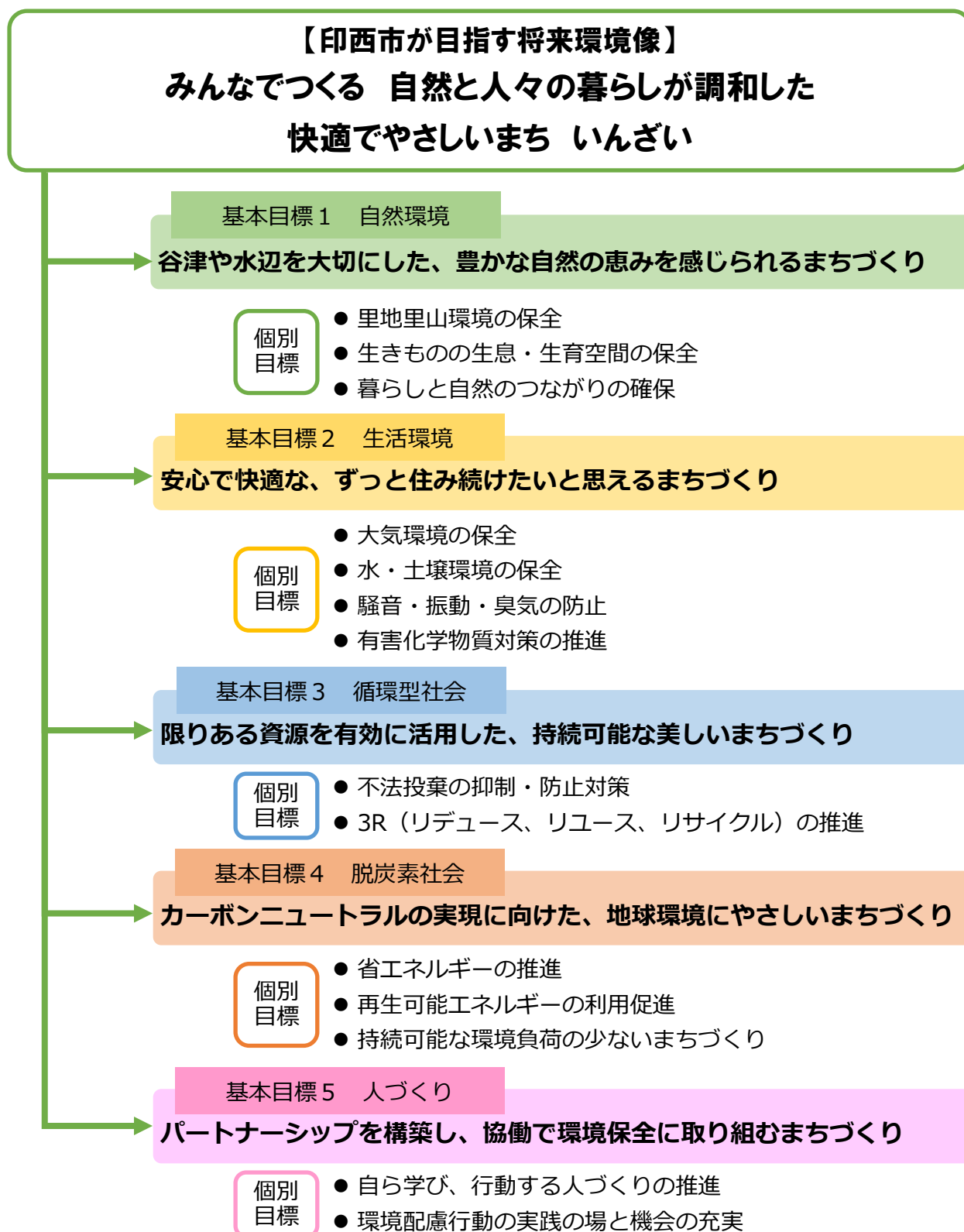
ＳＤＧｓは全世界共通の目標として全ての人や団体が意識を持って取り組む必要がありますが、特に自治体の責任と役割が重要となっています。

また、ＳＤＧｓは経済・社会・環境の統合的な取組を推進し、持続可能な住みやすい環境を目指すものであり、本市の将来環境像「みんなでつくる 自然と人々の暮らしが調和した快適でやさしいまち いんざい」を実現する上でも関わりが深いことから、本計画と一体的に推進するものです。

3-3 将来環境像の実現に向けた基本目標及び個別目標

本市の将来環境像を実現するために、5つの分野における基本目標及び個別目標を設定しました。

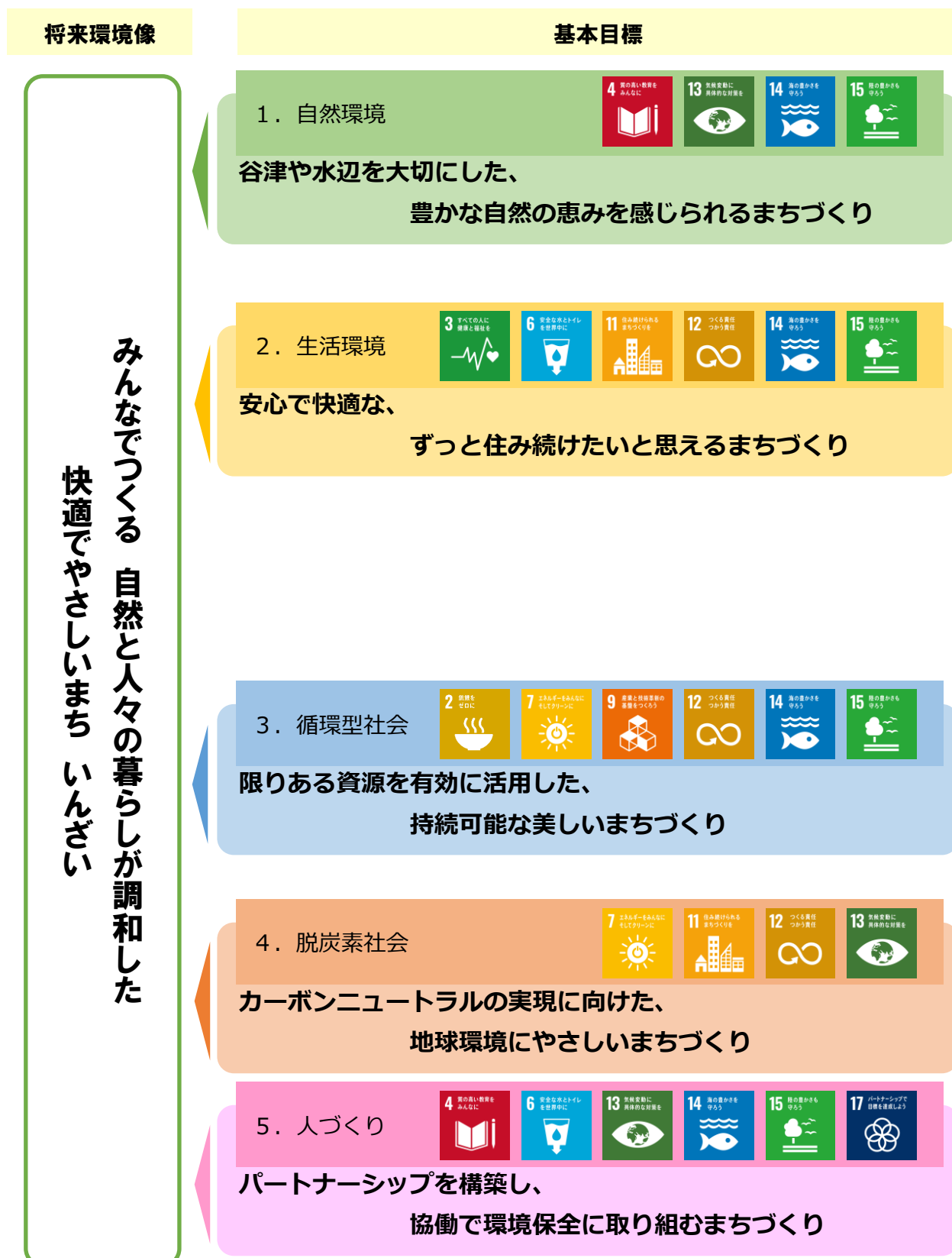
市民・事業者・行政の協働により、これらの取組を推し進めることで環境の保全と創造に向けた行動の展開を図ります。



3-4 取組の体系

本市が目指す将来環境像の実現に向けた取組の体系を以下に示します。

また、本計画における施策について、関係する主なSDGsのゴールを整理しました。各施策とSDGsのゴールを関連付け、相互の目標達成に向けた一体的な取組を進めます。



個別目標	施策
里地里山環境の保全	● 里地（農地）の保全 ● 里山（樹林地・斜面林）の保全
生きものの生息・生育空間の保全	● 生きものの生息・生育空間の把握 ● 多様な生態系の保全 ● 水辺環境の保全
暮らしと自然のつながりの確保	● 自然と調和したまちづくり ● 歴史・文化の保全
大気環境の保全	● 大気汚染の監視・指導 ● 大気環境に係る情報提供
水・土壌環境の保全	● 水環境の監視・測定・指導 ● 生活排水対策の推進 ● 健全な水循環の確保 ● 不法な残土埋立防止の強化
騒音・振動・臭気の防止	● 自動車交通に伴う騒音・振動の低減 ● 工場・事業所などからの騒音・振動の低減 ● 悪臭対策の推進
有害化学物質対策の推進	● 有害化学物質の適正管理 ● 放射性物質に対する安全・安心の確保
不法投棄の抑制・防止対策	● 環境美化活動の推進 ● 不法投棄の未然防止
3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進	● ごみの発生抑制の推進 ● ごみの再使用の推進 ● ごみの減量化・資源化の推進 ● 適正な処理体制の整備・推進
省エネルギーの推進	● 家庭・事業所における省エネ・脱炭素化の推進
再生可能エネルギーの利用促進	● 創エネルギー・蓄エネルギーの活用の推進
持続可能な環境負荷の少ないまちづくり	● 環境にやさしい交通環境の整備 ● 気候変動の影響の把握・対策
自ら学び、行動する人づくりの推進	● 環境学習の場と機会の創出 ● 環境保全活動を担う人材の育成
環境配慮行動の実践の場と機会の充実	● 環境情報の一元化と共有 ● 各主体における環境配慮行動の推進 ● 多様な環境活動主体間の連携促進